

北海道中会 礼拝状況アンケートの結果(2020年11月24日)

アンケートの内容

【質問1】 貴教会・伝道所の礼拝と諸集会についてお尋ねします。①礼拝はどのようにしていますか。②聖餐は行っていますか。③讃美歌は通常どおり歌っていますが。④祈祷会や諸集会はどうしていますか。

【質問2】 会員や求道者にどのような影響が見られますか。

【質問3】 教会・伝道所としてお困りのことはありますか。

【質問4】 この事態に直面して、御教会・伝道所の祈りの課題をお知らせください。クリスマス諸行事を含む

教会名	質問1①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題(クリスマス含)
1 函館相生教会	通常通り行っています。オンラインの利用や時間短縮はしていません。教会に入る際にマスク着用、手指のアルコール消毒、長椅子は二人までとしてソーシャルディスタンスを守り。ドアノブ・階段の手すり等のアルコール消毒、換気を定期的に行っています。	聖餐も司式者・配餐者ともマスクを着用して行っています。用意するときから配餐まで衛生面に嚴重注意しています。	讃美歌も会衆はマスク着用で歌っています。	祈祷会と学習会その他委員会はおこなっています(教会の厨房を使用しての食事提供や行事は中止しています)。祈祷会は2階の広い集会室に移し、学習会は2階集会室を広く使っています。	施設に入居している教会員が外に出られないため、7名ほど減っています。例年、夏に生徒への課題として礼拝出席を勧めていた近隣のミッションスクールの学生が、今年は学校の方針で礼拝出席を見合わせたので、生徒の出席はありませんでした。	教会として困ったことは、施設入所や高齢の教会員への訪問ができない点です。その他、内外の教会行事が軒並み中止になっている点です。	祈りの課題は、コロナの一日も早い終息と教会員の礼拝生活の回復です。 クリスマス礼拝後の祝会を今年には行わないこととなりました。
2 札幌北一条教会							
3 小樽シオン教会	通常通りに行っています。オンライン配信は現況では行っていません。時間短縮は行っていません。全体で、1時間弱で終了しています。座席配置は、長い(四人掛け)に二人として、間隔を開けて座っています。礼拝堂前部両側に換気扇を取り付け、礼拝時は換気扇を回して、外気が常に侵入して内気を排気するようにしています。	通常通り行っています。聖餐器具に関しましては、前もって次亜塩素酸で消毒し、配餐にも注意して行っています。	讃美歌は、マスクをしたまま、通常通り讃美しています。座る間隔を開けています。	祈祷会は継続して行っています。通常通りです。諸集会に関して、家庭集会には、感染防止に気をつけながら行っています。婦人会は、休会しています。	礼拝出席は、新型コロナウイルス感染症が流行する以前からすると平均6名程減っています。新規求道者は、教会に見えらる頻度が極端に減っています。	感染防止対策に関して、小会を中心に知恵を出し合っています。大会としての基準のようなものがあると良いと思います。	祈り会の祈祷課題が「新型コロナウイルス感染症から守られますように」というものです。幼稚園がありますので、幼稚園関係者が感染症から守られますように、という祈りも加わります。 クリスマス行事の内、祝会は中止、日曜学校のクリスマス集会も中止します。 クリスマス礼拝と、聖夜礼拝(クリスマス讃美礼拝)は通常通り、感染

	次亜塩素酸ナトリウムを噴霧しています。掃除に際して、次亜塩素酸で消毒しています。						対策をして行います。
4 旭川教会	<p>礼拝は4月26日～5月24日の5回を休止しましたが、5月31日のペンテコステ礼拝から再開しており、これまで継続して来ています。その場合、様々な工夫をしています。礼拝時間を短くする。聖書は従来は旧、新約聖書を朗読していましたが、説教箇所のみに行っている。交読文は、短いものを選択。讃美歌も短いものを選択。報告も簡潔に。</p> <p>礼拝時に、3密が起きないように工夫している。</p> <p>1) 離れて座るように、座席指定の紙を椅子に貼っている。2) 礼拝場所を、礼拝堂と集会室に分け、2か所で行っている。集会室へは映像・音声を送っている。3) 礼拝中も換気をしている。</p> <p>(密閉窓のうち1ヶ所を、開閉窓へと変更工事をして対応、換気量を増やした。)</p> <p>礼拝中もその他でも教会の中では、全員マスクを着けている。</p> <p>礼拝を休んでいる方々</p>	<p>聖餐は、3月からずっと、休止している。しかし、来る12月20日のクリスマス礼拝には是非、是非聖餐にあずかりたいと願っている。衛生管理を工夫のうえ。</p>	<p>讃美歌は、11月8日より、1番のみを声を出して歌っている。声を出す讃美歌の前後にメロディだけを伴奏してもらっている。</p>	<p>祈祷会は、4月26日～5月24日の5回礼拝休止中の水曜日の祈祷会は休みました。現在は通常通り行っている。</p> <p>諸集会は、ほとんどすべてが休止。いくつかの委員会を必要に応じて、行っている。</p> <p>小会は、日曜日から土曜日に移して、行っている。</p>	<p>健康に留意して礼拝出席、その他のむりがないようにとのお願いをしているが、それが徹底されているが、良い面があるのですが、反面ストレスがかかっているように思われます。</p> <p>礼拝出席者数が少なくなっている。</p>	<p>牧師の家庭訪問がまったく不可能。信徒の交わりが欠けている。</p> <p>各団体の学び、教会員の修養、祝会などが休止で、教会員相互の理解と協力などが不足している。</p> <p>12月20日、クリスマス礼拝を行う。聖餐式を久しぶりに行いたいので、衛生面に最大の注意を払って実行する。</p> <p>24日のクリスマスイブの集いは、今のところ行う予定。</p> <p>このところ感染者数北海道3桁台が連続しており、このまま推移した場合、イブの集いも休止となる恐れありと心配している。</p>	

	(もちろん、誰でも、何回でも見ることが出来ますが)へは、礼拝説教を FaceBook に投稿している。						
5 北見教会	礼拝は 50 分程度。2 階の窓を開けて換気している。	行っていない。	4 節以上ある讃美歌は 2 回に分けて歌っている。	日曜学校は休校。その他は再会している。	礼拝出席数の減少(5-6名)。高齢者が外出を控えている。日本初のクラスターの町ですが、今月 2 度目のクラスターが起きた。	礼拝の場が感染源にならないように、みな気をつかっている。	真冬に向けて、換気をどのように行うべきか。 クリスマス祝会は中止。 夕・賛美礼拝は検討中。
6 遠軽教会							
7 滝川教会	普通どおり行っています。	行っています。	行っています。	マスク、手の消毒をして普通どおり行っています。	求道者一人コロナを心配して礼拝にこれません。 会員 2 名 サ高住に入居中、外出禁止で礼拝にこれません。	新しい方や求道者が礼拝、会員同士の交わりから断たれていることです。	早くコロナ禍から自由にされることです。 会員・求道者の進行が守られることを祈ります。 礼拝に出席できなくても、イエスさまを中心とした交わりは変わらないことをどう伝えるか、互いに祈りあうことを課題としています。 クリスマス礼拝は毎年と同じに計画しています。祝会は変形して、食事会をせず、クリスマス感謝祈祷会をします。クリスマスイブ礼拝は 12 月 24 日(木)午後 7 時からキャンドルサービスを行います。例年のお茶会は中止。
8 聖園教会							
9 室蘭教会							
10 伊達教会	通常通り。 部屋の換気・マスク着用・消毒・席の間隔配慮	通常どおりに実施(準備は衛生面に注意して)。	通常通り(但し歌詞は 1 番と他にひとつの番に制限)。	通常通り。部屋の換気・マスク着用・関野間隔配慮	体調など不安のある方は無理をしないように連絡。礼拝出席は 10 名	施設に入居中の方は礼拝出席も会員の訪問も制限されている。	ウイルス感染の早期収束。医療従事者への感謝と励まし。

					程度の減。	計画した特別伝道礼拝は広範囲の宣伝を控えた。	クリスマスは例年の日曜学校と成人の合同礼拝は行わず、それぞれ分かれて実施。愛餐会は中止。イブ礼拝は行わない。
11 苫小牧教会	前回アンケートにお答えしたとおりです。その後変わりはありません。				定着しているようです。	感染拡大の第3波が来ていると思われる中で、今後礼拝をどう守って行くべきか、内容のさらなる縮小が必要になってくるのか不安です。	新型コロナウイルスの感染拡大が一日も早く終息に向かいますように。コロナ禍で困難な状況の中にある人たちをかえりみてください。どうか一人一人に必要な助けをお与えください。クリスマス礼拝の後に例年ですと愛餐会を開催しておりましたが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の予防のためやむなく中止することにいたしました。
12 遠浅教会							
13 札幌琴似教会	通常通りですが、いつもより少し短縮して行っています。ズームを用いてオンライン配信をしています。10人前後の人が礼拝に加わっています。	3～7月は中止していましたが、現在は行っています。パンを一つずつ小さなケースに入れて、ケース毎受け取り、ケースは各自で処分するようにしています。	原則一節のみ歌っています。	祈り会は密にならないよう礼拝堂で行っています。礼拝後の学習会等はしていません。	施設の制約により出席出来ない人が数人おられます。家族に高齢者がおられるため毎礼拝の出席が難しい人もいます(感染を恐れて)。求道者は徐々に戻りつつありますが、連絡が取りづらくなっている人もいます。	在宅礼拝者の献金のため、振込を可としましたので、遅滞は少ないようです。	教会堂の新築工事が始まり、8日に定礎式を行ったところです。感染の影響下にありますが、皆で思いを合わせて工事の完了のときを迎え、地域に対する福音の証しとなるよう願っています。クリスマスの祝会は例年のように幼稚園園舎のホールに移動しての会食とせず、礼拝堂でしばらく洗礼者のお祝いや賛美の後、一人一人に

							お弁当とケーキを渡す ことにしています。24日 のイブ礼拝は時間短縮 して予定通り行う予定 です。
14 札幌桑園教会	礼拝は通常よりやや短い礼拝(約 50 分)。オンラインを常時配信中	休止中。クリスマスには行いたいと考えているが、現在感染者が増加なので休止もあり得ます。	1 番のみ讃美	換気除菌をしながら讃美歌は全部歌います。 ※讃美を歌いたいという会員が多い。 ★礼拝で讃美を歌わないのは、相当な人数減少という影響が出ているように思います。 ★幼稚園の保護者聖書研究でも、ノンクリスチャンの母から讃美を歌いたいという声が出ています。 ※讃美の果たす役割の大きさを実感しています。	求道者・客員の礼拝出席は昨年と比べて減りました。会員も 70%程度で感染者増加の影響を受けています。逆に日曜学校生徒数は増加しました。平均 30-40 名。大人の礼拝出席者数よりも多いときもあり、自粛で外に出れないこと、幼稚園や教会は感染予防をしていることが SS 出席者増につながっているようです。	礼拝欠席者がそのまま教会を離れる懸念を感じ始めています。	現在、認定こども園化で新会堂建築を検討中ですが、このような状況下で会堂建築の意義を再考中です。 クリスマスは「こどもクリスマス、クリスマス礼拝、イブ礼拝」を祝会なしで行う予定です。但し道の非常事態宣言等が再発令された場合、直ちに礼拝を休止し、礼拝はライブ配信とし、ネット環境のない会員には説教原稿を送る形にすることをすでに小会で決定しています。
15 札幌豊平教会	札幌豊平教会では、11月23日(月)より、すべての諸集會を休止、主日礼拝は1月29日より12月13日まで3回は、ライブ配信を受信していただくことを中心にいたします。スマホやパソコンで視聴困難な方で、来會を希望される方を拒むことはありません。牧師と長老の一部が礼拝を続けます。 12月20日(クリスマス礼拝)以降については、						

	前主日に判断をいたします。 ずっと継続して、毎主日朝に、感染拡大状況を確認し、翌日からの方針を決めています。						
16 札幌発寒教会	会堂入り口にてのアルコールで手の消毒。マスク着用タオルを使用しないでティッシュ使用。間隔を開けての着席、換気に心がけている。説教台にフェイスガード設置。ロスナイ換気と加湿の工夫(空気浄化の努力)	執行している。パン・ぶどう酒の聖餐器内の間隔保持の工夫。配餐者の配餐前の手のアルコール消毒。	大声をあげないようにとお声がけ。讃美歌は全節歌っている。(11/22の礼拝には説教牧師と相談して、一節のみ選択していただくかと小会で決定)	祈祷会はマスク着用で実施。聖書の輪読、今週は讃美歌無し、参加者の祈り、主の祈り。諸集会としては、ひつじの会、壮年会、かけはしの会、ふじん会はマスク着用で実施。愛餐会はしていません 礼拝後のお茶の会は礼拝時と同じ心得で実施(再開したが、状況によっては中止を考える予定)。	病疾のある方は欠席の連絡を受けている、その家族も自粛されている(受付当番には奉仕している)。礼拝欠席者には希望があれば説教を印刷して郵送の用意がある。	礼拝献金減少。維持献金の未納がある(声がけと口座振り込みの案内実施している)。	祈祷会の祈りにはコロナ収束の願いがある。説教者の執り成しの祈りには必ず含まれている。 12/20 クリスマス礼拝聖餐式執行。入会式執行。祝会は中止。16時30分より日曜学校主催のキャンドルサービスは例年通り。会食はしない。
17 釧路教会	通常通り ただし①マスク着用、②席は分散、③常時換気でコート着用OK。(冬期も換気は、窓3箇所を少し開けて換気扇2箇所を回す) ・欠席者には週報と説教原稿を毎週(5軒ほど)か隔週(2軒ほど)で届ける(釧路市内の方々へ)。たまに郵送がある(厚岸、弟子屈の人に対して)。 週報と説教原稿：礼拝休止の時にしていたことを、再開後も続けていきます。	3月以降、見合わせている。感染が拡大してきたので、来春まで見合わせだと思ふ。	6月の再開後、「1、2節」を讃美歌ごとに指定して歌う(140番4節のように)。	家庭集会(一箇所)を行う。祈祷会は午前中で、以前はその後に昼食を一緒にしていたが、今は中止。	高齢や体調不良による礼拝出席困難はあっても、コロナ感染による影響はない。	特になし	特に課題を掲げることにはしていない。事態の変化に応じて、コロナ感染に関わる祈りをする人は必ずいる。 ・クリスマス礼拝、イブ礼拝は例年通り行うが、讃美歌の歌い方は上記の通り。 ・当日は聖書・讃美歌を提供しないで、必要箇所をコピーで用意しようと考えています。 ・祝会は行わない。各家庭での個別会食としてお弁当とクッキーを用意することとした。 ・イブ礼拝も茶話会を止

							めて菓子袋を用意する。
18 札幌白石教会							
19 森林公園教会	<p>・平常通り礼拝を守っている。</p> <p>・礼拝堂に入室する際マスク着用と手指の消毒、礼拝後に会堂の換気とドアノブなど手に触れる箇所のアルコール消毒に心がけている。会員の検温は行っていない。</p> <p>・講壇にアクリル板を設置した。講壇での司式者、牧師はマスクを外している。</p>	<p>11月1日（第一主日）から執り行っているが、以下のことに心がけている。</p> <p>・聖餐準備者、配餐者、牧師は手袋着用、マスク着用を厳守している。また、聖餐を執り行う前にアルコールを回して陪餐者全員が手の消毒をしている。</p> <p>・パンの配餐は配餐者がトングでつまんで配り、受ける人は掌で受けることにしている。</p> <p>・杯は回収せず、礼拝後に聖餐準備者が手袋を着用して回収している。</p>	<p>4月5日（第一主日）からは各曲1節のみを歌っているが、現在も1節のみ歌っている。</p>	<p>祈祷会は行っているが、その際、座る間隔を空け、マスク着用と玄関での手の消毒に心がけている。</p> <p>他の集会（婦人会、聖書を楽しむ会、讚美部の例会、子供文庫等）は9月から再開しているが、座る間隔を空け、マスク着用で行っている。</p> <p>その他、食事は教会で作らないで、個人が持ってくることにしている。</p>	<p>・昨年7月～8月に近くのキリスト教主義学校の生徒が礼拝に出席していたが、今年は各学校から礼拝に出席させないことの通達があり、そのため強勢が前年に比べマイナスとなった。</p> <p>・教会員の礼拝出席者数はほぼ回復している。</p> <p>・施設に入居している会員がまだ礼拝に出てこない（1名）</p> <p>・そうした中にも9月ごろから高校生1名が礼拝に出席しているが、引き続き礼拝に出席してくれることを祈っている。</p>	<p>今年の統計表の書き方について。</p>	<p>一日も早く新型コロナウイルスが終息すること。</p> <p>会員・求道者が安心して礼拝が守れる日が来ること。</p> <p>感染された方々が健康を取り戻すことが出来るように。</p> <p>・クリスマス礼拝後の祝会を中止し、お茶の会（短時間）のみを行う。</p> <p>・讚美礼拝は中止</p>
20 佐呂間教会	<p>礼拝は通常どおり行っています。発声を伴う、讚美歌・祈り・信仰告白等の際はマスクを着用してもらうようにしています。</p> <p>換気は、気づいた人が積極的に行ってもらうよう呼び掛けています。</p>	<p>6月以降、聖餐式は再開しています。準備・司式共に、注意を払うようにしています。</p> <p>司式者は手袋を着用し、式辞を朗読し終わるまで、聖餐一式の蓋は開けず、配餐の直前に開けるようにしています。</p>	<p>牧師が歌詞を検討し、曲によって数節削って歌うこともあります。</p>	<p>祈祷会は通常どおり行っています（月に一度、礼拝よりもずっと少人数のため）</p> <p>婦人会、祝会、外部向けの集会は休止中です。</p> <p>クリスマスには、日を分散する形で、地域と子供向けの集まりができるよう、計画中です。</p>	<p>施設に入所している会員は、複数の人が集まる場所への出席が禁じられている。</p> <p>牧師の訪問（病院・自宅など）も以前のようにはいかず、手紙などで関わりと励ましを続けます。</p>	<p>外部の方々に積極的に「礼拝へ、教会へおいでください」と誘えないこと。</p> <p>教会員どうじ、ゆっくりした交わりの機会を持ってないことの寂しさもあります。</p>	<p>礼拝がまもれている、ということへの感謝と、自分たちよりも厳しい状況におかれている方々、あるいは自分たちとは違う思いを抱えている方々のことを忘れることのないように。</p> <p>最前線で働いてくださる方々のために。</p>
21 帯広教会		<p>毎月第一主日に一度とイースタなど記念日に行っています。</p>	<p>1節2節だけ歌っています。</p>	<p>祈り会はいつもの通りですが、一つ家庭集会を停止しました。</p>	<p>高齢者の欠席が増えていきます。</p>	<p>ヤーウェ・イルエです。</p>	<p>コロナ禍も主の導きとして受けとめ、「お前たちは、立ち帰って落ち着いていれば救われる。静かに信頼していることにこそあなたがたの</p>

							力がある」(イザヤ30:15ab)の言葉を心に。 祝会は行わないが、クリスマス記念礼拝はいつもの通りに行います。
22 森伝道所	礼拝は通常通り行っており、オンラインの利用や時間短縮はしていません。(マスク着用と入り口の消毒は行っています)	聖餐も司式者・配餐者ともマスクを着用して行っています。	讃美歌も会衆はマスク着用で歌っています。	祈祷会はもともと行っておらず、月一度の森伝道所集会は、礼拝の前に委員会を行い(30分)、礼拝後はお茶菓子をいただきながら歓談(30分)します。これらに変更はありませんが、今年の4月・5月は月一度の礼拝そのものを休みました。	特にありません。	特にありません。	森伝道所のクリスマス礼拝後の祝会については、11月15日の委員会の時に検討予定です
23 夕張伝道所	通常通り	行っている	先月(10月15日)夕張消防署からクラスターが発生して以来讃美歌は1節のみにしている(クラスターは収束)。	通常の祈祷会はひらいていない。諸集会や訪問は控えている。	特にないと思う。	老人ホーム入所中の会員を訪問できないこと。	通常の伝道所の活動が続けられること。クリスマス礼(12/20)は通常通り。祝会(12/20)、イブ・キャンドルサービス(12/24)は予定しているが、状況によっては中止もありうる。
24 美深伝道所							
25 札幌手稲前田伝道所	礼拝は通常より短い	休止中	1番のみ讃美 ※応援教師によっては伴奏のみ	祈祷会等はなし	会員全員が毎主日出席しているので影響はありません。	特になし	特になし
26 北檜山伝道所	礼拝については前回のアンケートでお答えした通りで変わりありません。				特にありません。	特にありません。	祈りの課題は「世界の感染拡大が一日も早く終息に向かいますように」「教会に連なる一人一人の健康をお守りください。感染しない、させないようにお互いに配慮し合うことができますように」です。

							クリスマスの諸行事は いまのところ予定通り 開催するつもりですが、 今後の感染拡大の状況 によっては愛餐会を中 止するなどの対応を考 えております。
27 富良野伝道所							
28 北広島山手伝道所	<ul style="list-style-type: none"> ・平常通り礼拝を守っている。 ・マスク着用と玄関での手の消毒、礼拝後に会堂の換気とドアノブなど手に触れる箇所のアルコール消毒に心がけている。 ・礼拝後にお茶を提供していたが、感染の警戒から中止している。紙コップを用意して自由に水を飲むようにはしている。 ・4月から礼拝時間の縮小を心掛けているが、現在も心掛けている。 ・講壇にアクリル板を設置した。講壇での司式者、牧師はマスクを外している。 	<p>11月1日（第一主日）から執り行っているが、以下のこと守っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖餐準備者、配餐者、牧師は手袋着用、マスク着用を厳守している。 ・次回からパンの配餐は配餐者がトングでつまんで配ることにし、受ける人は掌で受けることにした。 ・杯は回収は配餐者が手袋を着用して回収している。 	各曲1節のみをマスク着用で歌っている。	祈祷会は毎月第一主日の礼拝後に行っているが、時間短縮のため委員一人が祈っている。	コロナの影響によって礼拝出席者が減っているということではないが、主任牧師がいないこともあって徐々に会員の礼拝出席者が減少している。	今年の統計表の書き方について。	<p>一日も早く終息すること。会員・求道者が安心して礼拝が守れる日が来ること。感染された方々が健康を取り戻すことが出来るように。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝後の祝会を中止し、お茶の会(短時間)のみを行う。 ・讚美礼拝は中止
29 奈井江伝道所							
30 稚内萩見伝道所							
31 美深伝道所							